

杭頭処理材 ニューキャブ

更に改良しました

はじめに

近年、都市周辺での工事はもとより、地方においても環境問題が非常に厳しくなり、騒音・振動の少ない公害性に優れた特長をもつ“場所打ち杭工法”が採用されるようになってきました。しかし、本工法においても解決されなければならない問題のひとつとして、余盛りコンクリートのはつり作業があります。

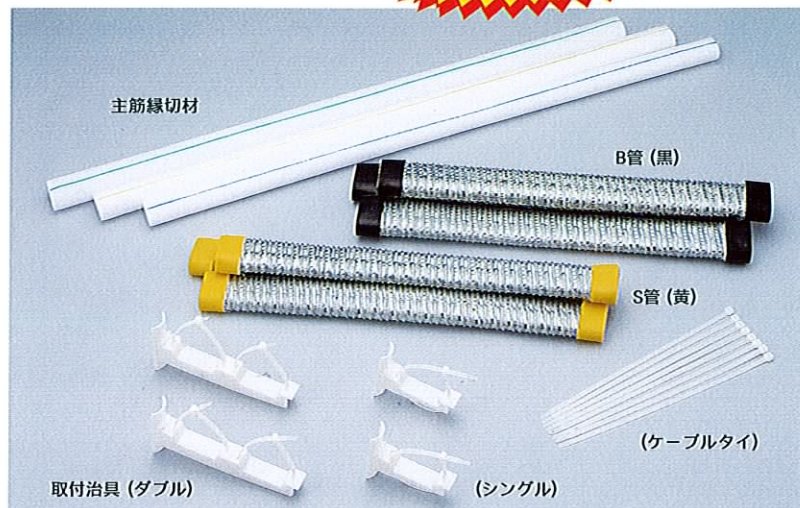
このはつり作業の実施には騒音・振動・粉塵がさけられず、労働環境の改善と併せ新工法の開発が強く望まれていました。

新PPC※工法はこうした社会的要望に応えるべく、住友大阪セメント㈱が開発した杭頭処理材「ニューキャブ」を使用する画期的工法です。

※PPCはPre Packed Cabの略です。

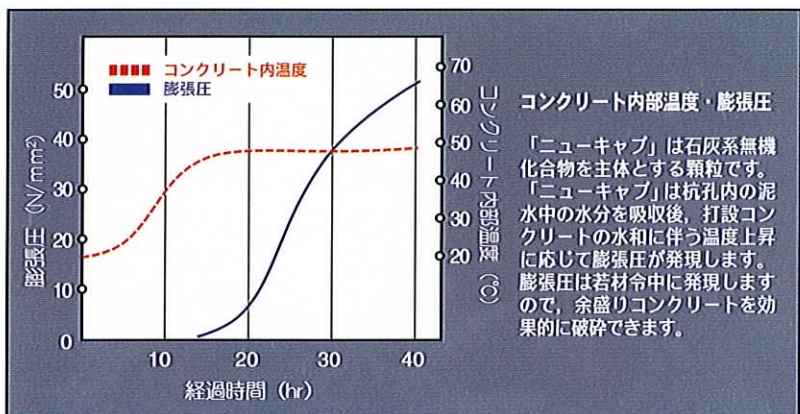
新PPC工法の特長

1. コンクリート打設前に「ニューキャブ」を杭頭部の鉄筋籠に取り付けるだけで、余盛りコンクリートを効果的に破砕します。
2. 作業が簡単で経済性に優れています。
3. 騒音・振動・粉塵の低減とともに労働環境を改善します。
4. はつり作業の省力化により工期の短縮が可能となります。
5. 「ニューキャブ」は火取法や消防法などの法的規制を受けませんので無資格で、誰でも取り扱うことができます。



ニューキャブB管 (水平破断用) 600mm×65mm×10本
 ニューキャブS管 (被りコンクリート破断用) 600mm×60mm×12本
 取付治具各種 (B管設置用) ケーブルタイ(細)付
 主筋緑切材各種 ケーブルタイ(太)付

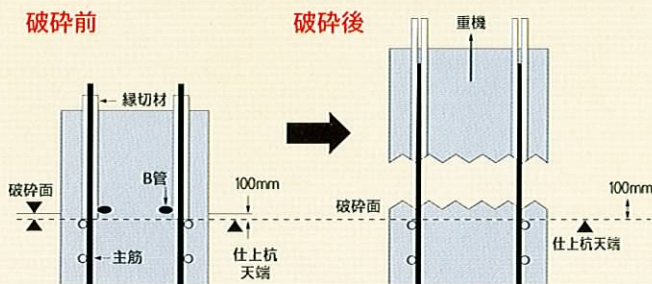
ニューキャブの性能



新PPC工法の破砕タイプ

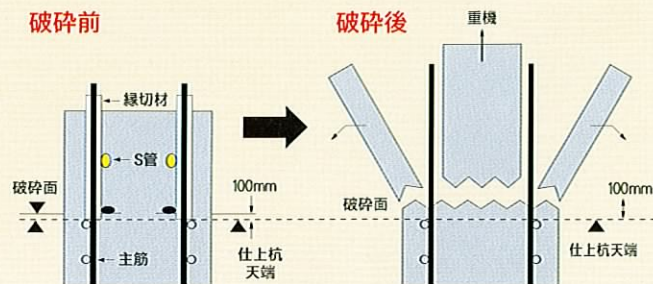
水平破断工法 (大割)

水平破断工法は、杭仕上り天端から100mm上にニューキャブB管を取付けることにより、計画破砕面での水平緑切を行います。破砕後の余盛りコンクリートは、重機にて撤去を行い、そのまま搬出するか場内の別の場所で処分します。



水平・被りコンクリート破断工法 (中割)

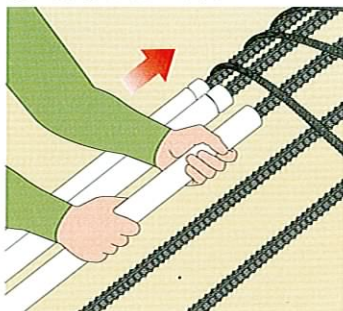
計画破砕面での配置は、水平破断工法と同様ですが、さらに中段にニューキャブS管を取付けることにより、被り部分の撤去を容易にします。破砕後は、被りコンクリートを剥がし、主筋内側のコンクリートは重機にて撤去します。



- その他の分割方法としては現場状況に応じて、
 - ①主筋内側部・分割破砕 (水平・被りコンクリート破断に主筋内部分割を加えた方法)
 - ②水平二段破砕 (余盛コンクリートをH1000mm以上とする場合に特に有効)
 もございます。お気軽にお問い合わせください。

新P P C工法の施工手順

①主筋縁切材の取付け



主筋に縁切材を差し込み仕上杭天端より50mm上がりの位置で両端を結束線で固定します。

②取付治具の取付け



B管の設置本数に応じた数量を所定の位置に取り付けます。

③CAB-B管の取付け



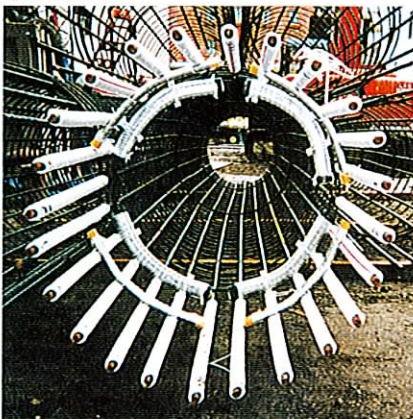
B管を鉄筋籠に沿うように曲げ、設置した取付治具に固定します。

④CAB-S管の取付け

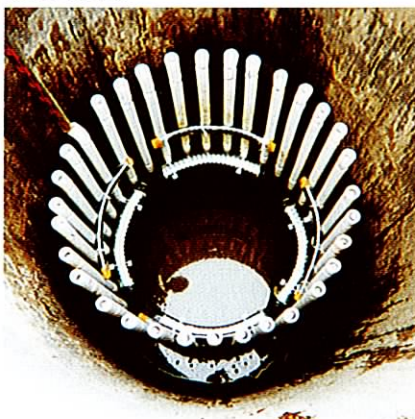


余盛高さの中間に、付属のケーブルタイでS管1本当り3ヶ所固定します。

⑤取付け完了



⑥建て込み



⑦根切り



水平破断工法(大割)



水平・被りコンクリート破断工法(中割)

※写真は二次破砕にて被りコンクリートを除去したものです。

杭径別材料使用数量一覧表

注)下記の取付本数は、余盛高さ1000以下、被り厚100mmを基準にしています。施工状況によっては本数が異なることがあります。

取り付け本数一覧表

破砕種類	杭径(編耐径)	取り付本数										
		φ1000	φ1100	φ1200	φ1300	φ1400 φ1500	φ1600	φ1700 φ1800	φ1900 φ2000	φ2100 φ2200	φ2300 φ2400	φ2500 φ2600
水平・被りコンクリート破断工法(中割)	B管	2	2	3	4	4	6	8	10	12	14	18
	取付治具S	4	4	6	8	8	12	8	4	8	4	4
	取付治具W	—	—	—	—	—	—	4	8	8	12	16
	S管	2	4	4	4	6	6	6	8	8	10	10

新P P C工法施工上の注意事項

ニューキャブ取扱い上の注意事項



- 建て込みの時には、吊り治具等を使用して、台付けワイヤーでニューキャブB管・S管・主筋縁切材に損傷を与えないように注意して下さい。また、トレミー管の挿入・撤去時にも、材料を損傷しないようご注意ください。
- 破砕効果は余盛コンクリートの品質に大きく影響を受けますのでスライム除去、品質管理は十分をお願い致します。



- ニューキャブは強アルカリ性ですので、皮膚に付着すると肌荒れを起こすことがあります。皮膚に付着した場合は、直ちに水洗いしてください。
- ニューキャブを本来の使用目的以外には、使用しないでください。とくにシース管内容物(ニューキャブ)を空缶や空き瓶などに入れると破裂し大変危険ですので絶対にやめてください。
- ニューキャブは、雨にぬれず湿気の少ない場所に保管してください。
- ニューキャブはできるだけ早い時期にご使用ください。
- 万一、シース管内容物(ニューキャブ)が眼に入った場合は、直ちに洗顔の上、眼科医の診断を受けてください。

本カタログの記載内容については、予告無しに変更する場合がありますので、予め御了承願います。

住友大阪セメント株式会社 建材事業部

東京	〒102-8465	東京都千代田区六番町6番地28	電話 03(5211)4752	Fax 03(3221)5624
大阪	〒530-0004	大阪市北区堂島浜1-4-4(アクア堂島東館15F)	電話 06(6342)7704	Fax 06(6342)7708
東北支店	〒980-0804	仙台市青葉区大町2-2-10(住友生命青葉通ビル12F)	電話 022(225)5251	Fax 022(266)2516
北陸支店	〒920-0847	金沢市堀川町2-13(カーニブレイス金沢駅前7F)	電話 076(223)1505	Fax 076(223)0193
名古屋支店	〒450-0003	名古屋市中村区名駅南2-14-19(住友生命名古屋ビル)	電話 052(566)3202	Fax 052(566)3273
四国支店	〒760-0023	高松市寿町2-2-10(JPR高松ビル3F)	電話 087(851)6330	Fax 087(822)6870
広島支店	〒730-0031	広島市中区小町3-25(住金物産広島ビル8F)	電話 082(242)1155	Fax 082(242)1233
福岡支店	〒812-0011	福岡市博多区博多駅前1-2-5(紙与博多ビル8F)	電話 092(481)0186	Fax 092(471)0530

本製品に関するお問い合わせ・ご用命は